

世帯調査票(川崎調査)

(表紙略)

児童養育調査票

世帯番号		調査員氏名										被調査者 妻・夫		A									
子備調査整理番号		調査年月日 昭和40年10月 日																					
世帯類型		住所																					
世帯主氏名		新生活運動役員歴										副委員長 地区委員 グループ委員		B									
児童 の 状 況	(1) 記号	(2) 同居別居の別	(3) 性別	(4) 生年月日(満年齢)	(5) 発達段階								(6) 収入の伴う仕事の有無		(7) その収入の使い方			(8) 子供部屋の有無				(9) 健康状況	
	第1子	同・別	男・女	年 月 ( 歳 月 )	母混工	公私社	公私	公私	公私	公私	公私	公私	公私	公私	1 2	1 2 3	1 2 3 4 Z	1 2 3 4	1 2 3 4				
																				1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	0 1 2 3 4 5
	第2子	同・別	男・女	年 月 ( 歳 月 )	母混工	公私社	公私	公私	公私	公私	公私	公私	公私	公私	1 2	1 2 3	1 2 3 4 Z	1 2 3 4	1 2 3 4				
	第3子	同・別	男・女	年 月 ( 歳 月 )	母混工	公私社	公私	公私	公私	公私	公私	公私	公私	公私	1 2	1 2 3	1 2 3 4 Z	1 2 3 4	1 2 3 4				
	別居児童	(10) 記号	(11) 現在の住所地			(12) 別居中の事由		(13) 配偶者の有無		(14) 仕送りの状況		(15) 掃省頻度 0. 全然掃らない 1. 半月未満 2. 1カ月未満 4. 3カ月未満			年間延日数が 1. 半月未満 3. 2カ月未満 5. 3カ月以上		仕事の内容と事業所名 (16) 1. 勤務 2. 自営		職場での地位 (17) 1. 役付 (2. その他) 事務 (3. 役付) (4. その他)				
		第1子				1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	0 1 2 3 4 5	1 2 ( )	1 2 3 4												
	第2子				1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	0 1 2 3 4 5	1 2 ( )	1 2 3 4													
	(18) 出生児数		1 男女	2 男女	3 男女	4 男女	5 男女	夫					妻					(19) 昭和 年 月 結婚		(20) 1. 夫側 2. 妻側			
	保 護 者 の 状 況	(21) 結婚時の満年齢		歳												1. (イ ロ ハ ニ)							
(22) 出生年月と満年齢		明・大・昭 年 月 ( 歳 月 )										明・大・昭 年 月 ( 歳 月 )		2. (イ ロ ハ ニ)									
(23) 夫と妻の兄弟姉妹の生存死亡別 (本人には◎ その他○ 死亡×)		1 男女	2 男女	3 男女	4 男女	5 男女	6 男女	7 男女	8 男女	1 男女	2 男女	3 男女	4 男女	5 男女	6 男女	7 男女	8 男女	3. (イ ロ ハ ニ)					
(24) 出身地 (小学校卒業時)		1. 東京・神奈川		2. 関東(除京浜)			3. 北海道・東北			1 2 3 4 5 6		1 2 3 4 5 6		4. 中部・近畿				5. 中国・四国・九州		6. その他			
(25) 学歴		1. 6年以下		2. 9年以下			3. 12年以下			1 2 3 4 5 6		1 2 3 4 5 6		4. 14年以下				5. 17年以下		6. 18年以上			
(26) 健康状況		1. 頑健		2. 普通		3. 病弱		4. 臥床中		1 2 3 4		1 2 3 4		1. 2 ( ) 3. 夫妻									
(27) 仕事の内容		日本鋼管川崎製鉄所										1. あり ( ) 2. なし		4. 5. 6. 7. 8 ( )									

保護者の状況	(28) 夫の職場での地位・妻の仕事の種類	※1	2	3	4	5	6	7	8			1	1	2	3	Z	M	
	(29) 現在の勤務・事業又は内職を始めた年	※	(人 社 年)	年								(59)	2	1	2	3		Z
	(30) 1日平均就労時間と往復通勤時間	就労	往復	( ) 時間+	( 時 分 ) = ( 時 分 )	就労	往復	( ) 時間+	( 時 分 ) = ( 時 分 )				3	1	2	3		Z
	(31) 夫の就職の事由と妻の就職経験 (内職を除く)	1. 祖父の代から	6. 職業紹介所・職業安定所を通して	結婚前	2. なし	結婚前 1. あり ↓ (昭和 年- 年) 結婚後 3. あり ↓ (昭和 年- 年)	0	1	2	3	(60)	0	1	2	3	N		
		2. 父の代から	7. 卒業校からの就職斡旋				1	1	2	3								
3. 叔(伯)父がつとめていた		8. 他会社からの転勤			2		1	2	3									
4. 兄弟がつとめていた	9. その他 ( )				3	1	2	3	4	(61)	0	1	2	3	O			
5. その他の親類・友人・近所の人・知人の紹介					1	1	2	3										
(32) 11月の勤労所得	※																P	
家庭の状況	(33) 家計上の現金支出 ※																Q	
	(34) 今年の不時の出費 ※	1 あり ( )	2. なし	(35) 8月からの不時の出費	1. あり ( )	2. なし												
	(36) 住居の種類 ※	1	2	3	4	(37) 入居年次	昭和	年	(38) 部屋数		(39) 帖数							
	(40) 住居の建築もしくは購入の年	1. 建築年( )	2. 建築購入年( )	3. 建築購入年( )	4. 建築購入年( )	(41) 風呂	1. あり(イ浴室ロ浴槽のみ)	(42) 10月中の入浴頻度(1週)										
	(43) 現在使用可能な耐久消費財の所有状況 (同一項目に2つ以上○印がつくことあり)	テレビ	1. 有(イ1台, ロ2台以上)	2. 無	冷蔵庫	13. 有(イ電気, ロガス, ハその他)	14. 無	① 1回 ② 2回 ③ 3回 ④ 4回以上										
庭の状況	(43) 現在使用可能な耐久消費財の所有状況 (同一項目に2つ以上○印がつくことあり)	8ミリカメラ	3. 有	4. 無	応接セット	15. 有( 点セット)	16. 無	(62)	1	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	R		
		ステレオ	5. 有	6. 無	電話	17. 有	18. 無		2	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ			
		ピアノ・オルガン	7. 有(イピアノ, ロオルガン)	8. 無	クーラー	19. 有	20. 無		3	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ			
		扇風機	9. 有(イ1台, ロ2台以上)	10. 無	スクーター・オートバイ	21. 有(イスクーター, ロオートバイ)	22. 無		4	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ			
		電気洗濯機	11. 有	12. 無	乗用自動車	23. 有	24. 無		5	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ			
(44) 暖房設備の状況	ストーブ	1. 有(イ電気, ロガス, ハ石油, ニその他)	2. 無	こたつ	3. 有(イ電気, ロその他)	4. 無	(63)	0	0	1	2				T			
(45) 常時購読新聞・雑誌	新聞	種	月刊雑誌	(一般用 種)(児童用 種)	(46) セットになった百科辞典	1. 有 2. 無	1	1	2	3	4	5						
両親の状況	(47) 両親の存否	夫方	1. 父母あり	2. 父のみ	3. 母のみ	4. なし	(48) 両親の住所	1. 東京・神奈川	2. 関東	3. 北海道・東北	4. 中部・近畿	5. 中国・四国・九州	6. その他	Y				
	妻方	5. 父母あり	6. 父のみ	7. 母のみ	8. なし	7. 東京・神奈川		8. 関東	9. 北海道・東北	10. 中部・近畿	11. 中国・四国・九州	12. その他	Z					
	(49) 一生のうち最も代表的な職業	夫方	1. 農林漁業自営	2. 商工業自営	3. 事業所勤務(事務係)	4. 事業所勤務(労務係)	5. 自由専門業	6. 管理的職業	7. その他	Y	(50) 被調査者側との同居経験	1. あり(昭和 年~ 年)	2. なし	Y				
	妻方	8. 農林漁業自営	9. 商工業自営	10. 事業所勤務(事務係)	11. 事業所勤務(労務係)	12. 自由専門業	13. 管理的職業	14. その他	Z	3. あり(昭和 年~ 年)		4. なし	Z					
	(51) 現在の同居者	夫方	1. 単独	2. 子と同居	3. その他の親族と同居	4. その他の人と同居	Y	→どの子と同居していますか	1	2	3	4	5	6	7	8	→ M 既婚 S 未婚	
妻方	5. 単独	6. 子と同居	7. その他の親族と同居	8. その他の人と同居	Z	→どの子と同居していますか	1	2	3	4	5	6	7	8	→ M 既婚 S 未婚			
(52) 訪問頻度 (相互の合計)	夫方	1. 1週1回以上	2. 1月1回~3回まで	3. 1年1回~10回位まで	4. 何年かに1度	5. 全然ゆききなし	Y	(53) 被調査者側からの仕送りの有無	1. している(月平均 ,000円)	2. なし	Y							
妻方	6. 1週1回以上	7. 1月1回~3回まで	8. 1年1回~10回位まで	9. 何年かに1度	10. 全然ゆききなし	Z	3. している(月平均 ,000円)		4. なし	Z								
備考																		

## 児童養育調査票記入要領

あいさつ

この間から御協力いただいています児童養育調査のことでおうかがいしました。少しばかりおたずねしたいことがありますので、30分ほどお邪魔させてください。なお、私はこの調査のお手伝いをしています 大学の と申します。どうかよろしくお願いします。

### A 全般的注意

- 1 ※印の欄は予備調査票の該当欄から転記しておく。調査者はあらかじめ鉛筆で転記したものをインタビューのさい確認する。
- 2 可能な限り妻から聴取すること。誰から聞いたかを被調査者の欄に記入する。夫と妻が同席した場合には、両方に○印がつけられる。
- 3 調査票のなかで、YあるいはZは非該当をさす。
- 4 ○印でかこむところは、該当の記号だけをきちんとかこむこと。

### B 個別的注意

○ 世帯番号とは本調査の整理番号であり、調査終了後記入される。したがってインタビューの段階では、予備調査整理番号を用いることになる。

○ 世帯類型は、児童の数とその発達段階との組み合わせによって設定されている。

すなわち、児童の数 I 1人 II 2人 III 3人

発達段階 1. 未就学児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生

したがって、たとえば、

III-321 とは、児童が3人いて、第1子中学生、第2子小学生、第3子未就学児の世帯を示す。

そこで、記入されている類型が正しいかどうかを、児童の状況欄によってチェックすること。

- (1) 不要の欄は斜線で消す。たとえば、第1子だけの時は、第2子と第3子を消しておく。
- (5) 高校中退は中学校卒とする。精薄などで、特殊学校へ入っている場合には、年齢相当の該当校種を△印でかこむ。
- (5)-3 「園児」というのは、幼稚園児および保育園(所)園児を含む。  
公は公立(ただし国立と公立を含む。以下同じ)。社は日本鋼管の会社立、私は私立を意味する。
- (7) 「全部家に入れる」というのは、一応収入の全部を家計に入れた上で、小遣をもらうものをさす。  
「一部家に入れる」というのは、入れる金額の大小や、収入のなかで占める比率の大小にかかわらない。
- (8) まず、有無をたしかめた上で、あればそれが1か2か、なければそれが3か4かをきく。なおZは、別居中の子どもで、非該当となるものをさす。
- (9) お子さんはお丈夫ですか、ときき、相手の答えを次の基準でふるいわけて記入する。  
「頑健」とは、めったに医者にかからないもの。  
「普通」とは、1年に、数度軽い病気にかかり医師(歯科医を除く)の診療をうけ、あるいは薬を服用するもの。  
「病弱」とは、病気がちのもの。  
「臥床中」とは、自宅で寝たきりのもの、あるいは入院中のものをさす。
- (16) 別居児童のうち、仕事をもっている者についてのみ記入することはいうまでもない。  
( ) 内には、事業所名を記入する。
- (17) 勤務者についてだけ記入する。
- (18) まず、亡くなったお子さんはありませんか、ときき、ない場合は、(1)と(3)によって、男女の何れかを○印でかこみ、不要の欄(もし子が2人なら、3以下の欄は不要となる)を斜線で消す。もし、亡くなった子があった場合は、その子が現存の子の何に当るかをたしかめた上で、出生の早い者から順に性別を○印でか

こみ、不要の欄は消去する。そして、死亡児には順位を示す数字の右に×印を付する。

- 20) 現在の姓は、結婚のさいに、夫側の姓をとったものか、それとも妻側の姓をとったものか。
- 23) 亡くなった方を含めて、御主人の（あるいは奥さんの）きょうだいは何人ですか、ときき、出生順に性別、健在死亡別をきく。本人には◎印をつけるほか、記入要領は(18)と同じ。
- 24) 出身地はどこですか、ときき、「出身地」の語ではとらえにくい時には、小学校卒業時所在の都道府県によってきめる。
- 1—東京、神奈川
  - 2—関東（千葉、茨城、栃木、群馬、埼玉）
  - 3—北海道、東北（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、新潟）
  - 4—中部（静岡、愛知、岐阜、福井、石川、富山、長野、山梨）  
近畿（滋賀、京都、兵庫、大阪、和歌山、奈良、三重）
  - 5—中国（鳥取、島根、山口、広島、岡山）、四国（香川、徳島、高知、愛媛）  
九州（福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄）
  - 6—その他（1～5以外の地域）
- 25) 「学歴」は、卒業した最終学校の程度をきいて、該当のランクにおちつける。学校の程度と年数とは、旧制、新制を含めて、次のように対応している。

	旧 制	新 制
6年以下	尋常小学校卒、国民学校初等科卒	小学校卒
9年以下	高等小学校卒、国民学校高等科卒、実科女学校卒	中学校卒
12年以下	中学校卒、工業学校卒、商業学校卒、農学校卒、高女卒	高等学校卒
14年以下	高等学校卒、専門学校卒、水産講習所卒、陸士、海兵、海軍機関学校卒	短期大学卒、高等専門学校卒
17年以下	大学卒（医学部を含む）	大学卒
18年以上	大学院修了	大学院修了

中退は、年数を計算して、該当のランクに位置づける。

- 27) 妻の仕事の内容は、予備調査票(8)欄から転記する。すなわち、(8)欄1～5に○印がついておれば、1あり、に○印を付し、事業所名を（ ）の内に記入する。1～5に○印がついていなければ、2なし、に○印をつける。
- 28) 妻の仕事の種類は、「造花の内職」など具体的に記入する。またアパート経営など夫が名義の上で経営主になっている仕事は、妻の仕事として記入する。
- 32) 11月の勤労所得は、家計簿から後日転記する。
- 35) 予備調査が行なわれた8月からこれまでに、不時の出費があったかどうかを問い、あった場合は、その主な支出目的を（ ）内に記入する。
- 38) 「部屋数」には、玄関、廊下、台所は含めない。
- 39) 「帖数」として数えるのは、畳数、板の間の区別を問わない。(38)の部屋数に含められた各部屋の広さを畳の枚数に換算して、その合計を記入する。
- 40) 住宅が自分もちの場合は、建築あるいは購入した年を、それ以外の場合は、自宅を建築あるいは購入する予定がたっておれば、その年を、大体の心づもり程度であれば、その推定年を、見込みが全くたたない場合は、予定なし、に○印をつける。
- 42) おたくでは10月に入ってから1週平均何回位入浴しましたか、ときくののだが、人によりまちまちで、答えにくい場合には、それでは奥さんは1週平均何回位入浴しましたか、ときく。
- 43) 「応接セット」は、テーブルと若干のいすとからなる。そこで同時に着席しうる人数にテーブルの数を加

えて点数とする。

- (44) 「有」の内訳について、2つ以上○印がつくことがある。
- (45) 児童用の月刊雑誌には、受験学習誌を含める。
- (46) 一冊本の百科辞典は「有」には含めない。
- (48) (51), (52), (53)のY, Zすなわち非該当とは親が2人とも死亡している場合をさす。
- (49) Y, Zは親が早く死亡して、特定の職業をもったとなしえない場合をさす。
- (50) Y, Zは結婚当時すでに親が2人とも死亡していて、同居の可能性のない場合をさす。
- (51) 親が現存する場合、まず単独(夫婦を含む)で住んでいるか、誰かと同居しているかをきき、次に、同居している場合には、誰と同居しているかをきき、子と同居している場合には、それが誰であるかを(2)の記号にしたがって該当者に○印をつけ、さらに同居者が既婚者か未婚者かをたずねる。(同居者が既婚と未婚と2人以上おれば、両方に○印をつける。)

### C 質 問 票

(54)~(63)はここに書いてある通りに質問します。

答は、調査票の該当欄に記入してください。

- (54) 月々の収入と支出のつりあいについて、お宅のようすは次のどれに当たりますか。(カード1, 2, 3を準備せよ。)

1 貯金できる どの位できますか → {イ. 2千円以内    ロ. 2千円から5千円以内    ハ. 5千円から1万円以内    ニ. 1万円以上}

2 いっぱい    いっぱい

3 たりない どの位たりませんか → {イ. 2千円以内    ロ. 2千円から5千円以内    ハ. 5千円から1万円以内    ニ. 1万円以上} →

足りない分は 

どうして補いますか	⎧	A 貯金を出す
		B 給料の前借りをする
		C 人から借りる
		D その他

- (55) ボーナスなどをも含めて1年間の収入支出を考えた場合、収入と支出のつりあいはどうなりますか。(カード1, 4を準備せよ。)

1 貯金できる どの位できますか → {イ. 2万円以内    ロ. 2万円から5万円以内    ハ. 5万円から10万円以内    ニ. 10万円以上}

2 いっぱい    いっぱい

3 たりない どの位たりませんか → {イ. 2万円以内    ロ. 2万円から5万円以内    ハ. 5万円から10万円以内    ニ. 10万円以上}

- (56) 今もし、かなりまとまった臨時収入(10万円位)があるとすれば、あなたはどのように使いますか、この中から1つだけ選んで下さい。(カード5)

1 旅行などして楽しみたい。

2 (                      )を買いたい。

3 親に送金したり、物を買ってやりたい。(それは御主人の親ですか 奥さんの親ですか)

4 子供の将来のために貯金しておきたい。

5 自宅を建てるのにとっておきたい。

6 老後の生活のためにとおきたい。

7 有効な事業(これには株、債券、アパート経営などを含みます)に投資したい。

8 その他(                      )

- (57) 生活のしかたにはいろいろありますが、このカードに書いてある4つのものは、それぞれ違った良さをもっています。この4つの中であなたの生活のしかたはどれが一番近いでしょうか。(カード6)

1 子供中心の生活で、とくに子供の教育費のためなら、かなりの犠牲をもちとわぬ。

2 万事、夫の仕事を中心に考えて家計のきりもりをしたい。

3 現在、なるべく豊かな生活を楽しみたい。

4 老後や不時の必要に備えるために計画的な生活をしたい。

58) あなたはお子さんにどのような人になってほしいとお考えですか。次のカードにはかりにいくつかの組合せがあります。その組合せの中からあなたのお考えに近いものをそれぞれ1つ選んで下さい。(カード7, 8, 9を準備せよ)

- 1 イ. あまり人に好かれなくてもいいが、勤勉な子。  
ロ. あまり勤勉ではないかもしれないが、人に好かれる子。
- 2 A. 必ずしも従順でないが、自分で考えてやっていける子。  
B. 人に依存する傾向はあるが、従順な子。
- 3 イ. 親きょうだいとのつきあいはあまりよくないかもしれないが、大いに出世する人。  
ロ. あまり出世はしないが、親きょうだいとのつきあいのよい人。

58-1. 男のお子さんは、(いない時にはYを○でかこむ)

58-2. 女のお子さんは、(いない時にはZを○でかこむ)

59) お子さんの学校はどの程度までやるつもりですか、

1. 中学校まで。2. 高校まで。3. 大学まで。

Z. 非該当 (いない時)

59-1. 一番上のお子さんは、

59-2. 次のお子さんは、

59-3. 三番目のお子さんは、

60) 男のお子さんのうち1人は日本鋼管へ勤めさせたいと思いますか。

1. 思う。2. 思わない。3. わからない、どちらでもよい。

→60-1. その子は何番目のお子さんですか。

1. 一番上の男の子。2. 二番目の男の子。3. 三番目の男の子。

→60-2. お父さんと同じ仕事を希望しますか。

1. する。2. しない。3. わからない、どちらでもよい。

60-3. [60で2. 思わない、と答えた場合、および1. 思う、と答えた場合でも、その子が一番上の男の子のことではないとき] 一番上の男の子には、それではどういう職業につくことを希望しますか、(具体的にいわせて、調査者が内容をよくつかんだ上で分類する)

1. 自営 2. 勤務(事務) 3. 勤務(労務) 4. 自由専門業

61) おたくでは、御主人は月給を全部奥さんに渡しますか。

1. 全部渡す。2. 一部分小遣にとっておいて大部分渡す。3. 自分の手もとにもっていて、必要に応じて妻に渡す。

61-1. それでは、ボーナスはどうですか。

1. 全部渡す。2. 一部分小遣にとっておいて大部分渡す。3. 自分の手もとにもっていて、必要に応じて妻に渡す。

62) お宅では次のことがらを決めるとき、結局誰の意見できまりますか。このカードの中から、一番近いものを選んでお答え下さい。(カード10)

イ. 夫が決める。                      ニ. どちらかというとき夫の意見で決まる。

ロ. 妻が決める。                      ホ. どちらかというとき妻の意見で決まる。

ハ. 子供が決める。                    ヘ. 誰の意見でということはないに決まる。

62-1. お子さんの幼稚園や学校を決めるとき(あるいは決めたとき)。

62-2. 金額のはる買物について、買物をするかどうかを決めるとき(電気器具等)。

62-3. 具体的にどのような機種、銘柄のものを買うかを決めるとき。

62-4. 休日に家族づれでどこかへ出かけるとき、出かけるかどうかを決めるのは。

62-5. どこへ行くかを決めるのは。

62-6. お互に見たいテレビの番組が重なったとき。

(62) 7. 今年の夏のボーナスの使いみちはどのように決めましたか。

(63) お宅では、あと何人子供がほしいと思いますか。(ほしいが産めないという場合には0人とする)

0. 1. 2人

(63) 1. 子供の数は、全体で何人位が理想的だと思いますか。1. 2. 3. 4. 5人

(63) 2. その場合、男の子と女の子の組み合わせはどうなりますか。男\_\_\_\_人 女\_\_\_\_人

(63) 3. 会社が新生活運動のなかでやっている家族計画(計画的に子供をつくること)の指導についてあなたはどのように思いますか。

1. よいことだ。2. 感心しない。3. どちらともいえない。

### 最後に

調査票を読み返して、落ちがないかを確認し、お礼を述べて立ち去る。そのさい、家計簿の記入について質問がないか、どうかただし、質問があれば、それを記録して、社会保障研究所の \_\_\_\_\_ に通報する。(TEL 580-2511)

### カード 1.

- 1 貯金できる。
- 2 いっぱい いっぱい。
- 3 たりない。

### カード 3.

- A 貯金を出す。
- B 給料の前借りをする。
- C 人から借りる。
- D その他。

### カード 2.

- イ 2千円以内
- ロ 2千円から5千円以内
- ハ 5千円から1万円以内
- ニ 1万円以上

### カード 4.

- イ 2万円以内
- ロ 2万円から5万円以内
- ハ 5万円から10万円以内
- ニ 10万円以上

カード 5.

- 1 旅行などして楽しみたい。
- 2 ( ) を買いたい。
- 3 親に送金したり物を買ってやりたい。  
(それは御主人の親ですか, 奥さんの親ですか。)
- 4 子供の将来のために貯金しておきたい。
- 5 自宅を建てるのにとっておきたい。
- 6 老後の生活のためにとっておきたい。
- 7 有効な事業(それには株, 債券, アパート経営などを含まず)に投資したい。
- 8 その他 ( )

カード 8.

- A 必ずしも従順でないが, 自分で考えてやっていける子。
- B 人に依存する傾向はあるが, 従順な子。

カード 6.

- 1 子供中心の生活で, とくに子供の教育費のためなら, かなりの犠牲をもいとわない。
- 2 万事, 夫の仕事を中心に考えて, 家計のきりもりをしたい。
- 3 現在なるべく豊かな生活を楽しみたい。
- 4 老後や不時の必要に備えるために計画的な生活をしたい。

カード 9.

- イ 親きょうだいとのつきあいはあまりよくないかもしれないが, 大いに出世する人。
- ロ あまり出世はしないが, 親きょうだいとのつきあいのよい人。

カード 7.

- イ あまり人に好かれなくてもいいが, 勤勉な子。
- ロ あまり勤勉ではないかもしれないが, 人に好かれる子。

カード 10.

- イ 夫が決める。
- ロ 妻が決める。
- ハ 子供が決める。
- ニ どちらかというとも夫の意見で決まる。
- ホ どちらかというとも妻の意見で決まる。
- ヘ 誰の意見でということはないに決まる。